

## TTC ゆった〜り山行実施記録表

2023年3月29日 YM

山行名	神田川桜回廊・千鳥ヶ淵観桜ウォーキング [東京都文京区・千代田区]			
実施日	令和5年3月27日(月) 日帰 公共交通機関利用/現地集合・現地解散			
天候/参加人員	天候: 終日曇/最高気温16℃ レベル: ★ 参加者: 申込14名/実施12名			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用(交通費)	約1,580円(本厚木駅起点/各自交通系ICカード払い)			
一人:1,580円	往路:本厚木⇒新宿⇒目白:¥680、帰路:半蔵門⇒代々木上原⇒本厚木:¥722、江戸川橋⇒竹橋:¥178			
行動時間	神田川	千鳥ヶ淵	総行動時間*	*江戸川橋駅〜竹橋駅間の移動時間を含む 歩行数:~17,000歩
ガイドブック	—	—	—	
計画	~3:00	~3:00	~6:00	
実行	2:12	1:51	4:38	
実行コースタイム記録				
◆神田川桜回廊ウォーキング(歩行距離:~3km+アルファ)				
小田急線/JR山手線(集合9:50) (邸内散策) (昼食) (地下鉄移動)				
(本厚木=新宿⇒)JR目白駅-----曙橋-----面影橋-----細川庭園-----椿山荘冠木門-----江戸川公園-----江戸川橋駅=				
8:44 9:35/9:42 9:48/9:53 10:20 10:23/10:25 10:50/11:10 11:16 11:27/11:58 12:05/12:14				
◆北の丸公園・千鳥ヶ淵ウォーキング(歩行距離:~2.5km) 地下鉄半蔵門線・千代田線/小田急線				
(飯田橋)=竹橋駅-----北の丸公園入口-----田安門-----千鳥ヶ淵緑道-----千鳥ヶ淵入口交差点-----半蔵門駅⇒(表参道⇒				
12:40 13:00/13:20 13:28/13:38 14:24 14:31(解散)/14:37				
代々木上原⇒本厚木駅 15:50頃)				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>久しぶりに都心の桜名所でお花見ウォーキングをしようと、候補地を探した。江戸の面影を残す静かな街中に残る、マイナーな桜の名所を探し、たどり着いたのが、今回の文京区高戸橋から江戸川橋までの約2kmの神田川の両岸に続く桜並木「神田川桜回廊」の遊歩道ウォーキング。これだけだと、午前中の半日コース。そこで、午後は、日本有数の桜の名所「北の丸公園・千鳥ヶ淵」に立ち寄り、趣の異なる2か所の桜名所を巡る東京都心の観桜ウォーキング計画を提案した。</p> <p>3/27(月)朝、シニアメンバを中心に、12名のメンバが、JR目白駅前に集合。学習院大学を右に見ながら、目白通りを東進し、明治通りと並進して走る、東京に唯一現存する都電荒川線の電車を千登勢橋上からしばし眺め、その少し先の高田1丁目信号を右折して、旧鎌倉街道の宿坂の急坂を下った先の曙橋で、神田川左岸に続く遊歩道に出た。</p> <p>川の両岸には満開の花を咲かせた桜並木が、江戸川橋までの約2kmに渡って続き、両岸から枝を伸ばしたピンクの枝が、川面を覆い、まさに桜花の回廊だ。現在の神田川は、高さ7~8mのコンクリート擁壁が川幅約10の両岸に起立し、その底に清流が流れ、水鳥が遊んでいた。井之頭池の湧水を源流とし、高田馬場付近から、目白・早稲田の境を東に15kmほど流れ下って、隅田川に合流する短い小河川ではあるが、かつては、江戸100万人の民の飲み水を供給する貴重な清流で、下流の江戸川橋付近には神田や日本橋方面に飲料水を供給していた大堰遺構があり、昼食後見学した。</p> <p>右岸は、早稲田大学キャンパスやオフィスのビル街だが、左岸には、細川邸園(肥後細川藩下屋敷跡)、大堰建築に尽力した松尾芭蕉が1.5年ほど滞在した関口芭蕉庵、急坂の胸突坂、名庭園で名高い椿山荘(旧山県有朋邸宅跡)の冠木門、大堰遺構がある江戸川公園と、江戸の香りが残る緑濃い遊歩道のウォーキングを楽しんだ。立ち寄った細川邸園内には、桜の他、シャガやミツマタの花が咲き、築庭の中を、幾組もの新婚カップルが写真撮影していた。江戸川公園の藤棚下のベンチに腰掛け、桜花を堪能しながら、ゆっくり昼食を楽しんだ</p> <p>午後は、地下鉄を乗り継いで竹橋に移動。毎日新聞本社ビル前から、北の丸公園へと進み、北の丸公園西側土手から、お堀の両岸に並ぶ桜の大樹から、満開の花をつけた枝を水面に大きく長く伸ばした、眼下に広がる千鳥ヶ淵を代表するダイナミックな桜花の景観を堪能した。田安門を潜って、北の丸公園から千鳥ヶ淵に抜け、靖国神社の桜はスルーし、花見客で大賑わいの千鳥ヶ淵緑道を半蔵門方面に向かってそぞろ歩き。ここは、日本を代表する桜名所だけあって、外国人の観光客の姿が目立った。千鳥ヶ淵の観桜メインルートを歩き、足も大分疲れてきたことから、千鳥ヶ淵公園入口標識から、地下鉄半蔵門駅に向かい、ここで、4時間半/約17000歩の観桜ウォーキングを終了して現地解散。帰宅の途に就いた。</p>				

SLがTTCアーカイブデータベースをスマホで検索して、前回TTC主催山行で、この地に花見に訪れたのが、奇しくも10年前の今日の3/27だったと、調べて教えてくれた。小雨降る中、見事に咲き誇る桜に感激しながら、記念すべきゆった〜り山行kick-off行事として、15名のメンバで、皇居一周ウォーキングを楽しんだ記憶が、鮮やかに蘇ってきた。